

目標達成計画

作成日：平成 26年 3月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	緊急時におけるAED・心肺蘇生法の研修を実施しているが、実際急変時に当ると落ち着いた対応に欠ける、実施回数、内容の検討が必要である。	急変時、落ち着き、周囲の利用者様にも不安・動揺を与える事無く、対象利用者様には、最短で適切な対応を全職員行えること。	研修等の実施回数を月一回、実践蘇生キットなどの購入を行い、実際に人形を使った実技、テキスト(資料等)を持ちいれた勉強会の反復学習を行い技術・知識を身につける。	6ヶ月
2	35	防災訓練を含め、年二回、地域での災害訓練に参加させて頂いているが、天災害等を想定すると飲料水、最小限の物資等の確保の準備、地域との連携、協力体制の確認などに欠ける。	互いの助け合い意識の向上、災害時には地域との迅速な連携を図り、利用者様の安全確保に努める。	施設行事等の告知や参加の呼びかけを図る。地域に開かれた施設のアピールを行いながら施設運営についての理解を深めて頂き、天災害時には互いに協力し合える関係性を築きあげていく。	12ヶ月
3	37	興味・感心等の希望には添えるよう努めているが、こちらからの提供部分が多いと思われる為、Yes・Noの自己決定ではなく、利用者様の思いを聞き出した上での自己決定に繋げていく必要が重大であると考えます。	本来あるべき自己を尊重した自己決定の確立に努める。	ご利用者様の気持ちをくみ上げ、出来る限りの対応をご家族様と連携をとり行っていき、日常生活の中では選択から決定するのではなく、一人一人の意見に耳を傾け、その中から自己決定へと繋げていく援助・介助を行う。	12ヶ月
4	42	内部研修を通じて理解を深め実践しているが利用者様が全員・口腔ケアの必要性について理解乏しく、日中のケアが不十分であり、誤嚥性肺炎の原因にも繋がる事を考慮しながら習慣化したケアへの定着意識を両者が持ち実践していく必要がある。	口腔ケアの重要性についての利用者様への説明理解に努め、統一した対応を継続していく。	口腔ケアについての一步踏み込んだ学習を行い、ケアの重要性などについて知識を得る。その為にも基礎からステップアップした研修などの開催回数をもうけ実施していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。